

# 神奈川病院だより

平成20年10月発行  
神奈川病院 広報誌

第25号

## 独立行政法人 神奈川病院の理念 国立病院機構

基本理念：私たちは、地域の皆様から信頼される病院づくりに努め、常に新しく良質な医療の提供をいたします。



### —病院ロゴマークが変わります—

当院のロゴマークは独立行政法人移行時に作成したのですが、“肺と心臓、四肢を躍動的に”と言うコンセプトが実情と合わないのではとの意見が聞かれた事から、ロゴマークの変更をしました。

神奈川病院の頭文字「K」と5枚の葉をモチーフとしたロゴマークは「安心・信頼」をテーマに、神奈川病院、地域の方々、自然環境、野鳥、ネットワークをイメージし、未来への広がりを表しています。

### —ロゴマーク制作を終えて—

“F” Graphic Design Room 藤井 紀子

この度は、神奈川病院のロゴマーク作成という大役を務めさせていただき、ありがとうございました。

初めて打ち合わせで伺ったのは、新緑の美しい5月の連休明けのことでした。緑をたたえた山頂に位置し、野鳥のさえずりをBGMに、後ろは丹沢、晴れた日には富士山はもちろん大島まで臨めるという豊かな自然環境に、思わず仕事を忘れ癒されてしまったことが懐かしく思い出されます。

とはいえ、私にとって、富士山、丹沢、大島といった具体的な環境をデザインし、ロゴマークというひとつの形にするのは至難の業でした。毎日「富士山、丹沢、大島」と唱えながら、どう表現すればそれらの自然のすばらしさを伝えることができるだろう？と頭を巡らせていました。

こうして完成に至ることができたのは、市末寄院長はじめ、職員の皆様からの率直なご意見と温かいご支援のお陰です。恵まれた環境の中で仕事をさせていただきましたことを、心から感謝申し上げます。

### インフルエンザワクチン接種のお知らせ ～10月1日より受付開始～



<大人 中学生以上> 予約は必要ありません

診察時間内（8時30分～11時30分）で受け付けています

費用：大人（中学生以上） 3300円（1回のみの接種です）

<子供 小学6年生まで> 予約は必要ありません（水曜日午後のみ予約可）

通常の外来診療時間内、及び水曜日午後のインフルエンザワクチン接種外来で受け付けています。

費用：小学6年生まで 2000円/回（通常2回接種が必要です）

お子さんに付き添いの保護者の方も一緒に接種可能です。アレルギーのお子さんは皮膚テストを確認してから接種することも可能ですのでご相談ください。

この場合は検査をしてからの接種になりますのであらかじめ予約が必要です。

## 地域にねざした医療を行うために 救急救命士を対象とした勉強会が行われた

講師 脳神経外科医長 齋藤 良一

神奈川病院では平成19年度より秦野市消防本部と足柄消防組合の救急救命士さんの病院実習を担っています。当院では2次救急といわれる入院治療が必要な救急患者さんを積極的に受け入れています。昨年は年間1000台近い救急車が搬入されました。

救急救命士さんは救急要請を受けるとただちに現場に向かい、必要な救急処置を行いつつ搬送先の病院を選定します。もし患者さんが心肺停止状態であれば気道確保、心臓マッサージ、さらに挿管や静脈路の確保、アドレナリンという強心剤の投与も病院到着までの間に行います。そのためには定期的な研修会や病院実習を受けることにより知識と技術レベルを向上させることが大切です。

これまでに14名の救急救命士さんが当院で実習を受けました。実習期間は2週間で救急隊の制服を着用しています。皆様もその姿を院内でご覧になっているかもしれませんね。

また最近の脳卒中診療ではt-PAと呼ばれる最新の脳梗塞治療薬を発症後3時間以内に投与することが重視されています。湘南地区ではこの度、救急隊員が脳卒中が疑われる患者さんを素早く判断して必要な処置を加えつつ病院に搬入することを目的とした脳卒中病院前救護のガイドラインが策定されましたが、その作成を当院の脳神経外科が担当しました。本年7月に救急隊員の皆様を対象とした脳卒中ガイドラインの勉強会が当院で開催され56名の救急隊員が受講されました。当院脳神経外科ではt-PAの投与および脳内出血や脳動脈瘤のクリッピングなどの脳卒中の手術を開始しています。

今後も救急隊員の方々と連携を深め、2次救急に円滑に対応できますよう尽力していきます。



## 看護師募集

～ホームページも是非ご覧下さい～

<http://www.hosp.go.jp/~kanagawa/>

国立病院機構神奈川病院

☎0463-81-1771 (代表)

看護部長室 (内線) 2004

管理課 (内線) 2121



## 救急救命士 病院研修

病院実習を終えて

秦野市消防本部  
小室 健司



研修に望むに当たって、「救急車の来院数もそれほど多くはないし・・・」と不安も正直ありましたが、その分りハビリ科、放射線科、また重度心身障害者病棟の見学など多方面にわたる研修が可能となりました。一昨年に他病院で受講したときは、ほぼ救急外来の診療補助のみに追われたのに対し、違った内容が習得でき良かったと思います。また地元での研修ということで、神奈川病院の医療スタッフとも顔の見える関係が、少しは構築できたのではないかと感じています。

さらに、実習が1人であることから、マンツーマンの講義が数回あるなど、これもまた他病院ではない特色のある研修で、再教育としてのメリットは多分に感じることができました。

市耒壽院長、齋藤医師はじめとするスタッフの皆様には、診療業務ご多忙中にも拘らず、病院実習の受け入れしていただいていることに、この場をお借りして深くお礼申し上げます。

### 救急救命士病院研修

足柄消防署

岡本分署第1課警備 杉崎 光由



足柄消防の杉崎です、当消防本部は、神奈川病院のある秦野市と隣接する南足柄市と足柄上郡五町（中井・大井・松田・山北・開成町）から構成された消防組合で県西部に位置します、管轄人口は112千有余、職員数は159名で業務しております、2007年度の救急件数は3,961件で、ここ数年は上昇傾向です、救急隊は5隊あり常時救命士は最低一名が乗務しています。

教育研修病院として神奈川病院は昨年より受け入れていただき初めてとなります。研修は院内の案内後、手術師長・スタッフへの挨拶と紹介が終えると直ちに手術着に着替え手術室の見学となりました、手術室の研修は平均4～5時間で麻酔科医による気管挿管・LM・気管支チューブ・頸鼻エアーウェイの挿入や外科医による臓器摘出・切除などの見学できた、特に麻酔科医による気管挿管等は救急現場でも救急隊が手技で応用できるものがあり有用な見学であった。10日間の研修は手術室研修が約5割を占め、救急搬送事象は10件で重症患者はなく医師の初期診療・X線・CT検査などの補助を実施させていただいた。他には病棟回診、結核病棟、重身症病棟の見学をさせていただきました、医師・看護師の患者への接遇は懇切丁寧で救命士にも同様であり、スムーズな研修おくれましたことをお礼申し上げます。

### 神奈川病院勉強会の復活

秦野市消防本部 川原 賢



私は、平成6年に救急救命士の資格を取得しました。丁度その頃から数年間だと思いますが、神奈川病院循環器科の看護師さんたちが主体となり行われていた院内の勉強会に、私たち救急隊員も同席して勉強させていただいた記憶があります。

それから時は流れ、私の頭の中で神奈川病院での勉強会は、救急隊員としての年間カリキュラムから消滅してしまった状態でした。

そのような中、先般、神奈川病院で勉強会が開催される旨の連絡を受け、思わず「復活？」の一言を口走ってしまいました。

今回は、救急隊員の勤務体系にもご配慮いただき二度にわたり同じテーマで開催していただいたおかげで、秦野消防及び足柄消防に所属する多数の救急隊員が、脳神経外科の齊藤良一先生よりご教授いただくことができました。本当にありがとうございます。今後も、私たち救急隊員は生涯教育の一環として積極的に参加させていただきますので、よろしく願いいたします。

## 夏休み教育入院を終えて

小児科医師 渡辺博子

夏休み教育入院はアトピー、喘息、肥満などの子供達が、夏休み期間を利用した疾患治療を中心とした教育入院です。7月28日（月）～8月8日（金）の2週間、今年で7回目がおこなわれました。医師、看護師、保育士を始め検査科、栄養管理室、理学療法室、管理課、企画課など、病院全体のスタッフの皆様のご協力ありがとうございました。当初は当院の外来通院中のお子さんだけの参加でしたが、徐々に他院からの依頼入院も増えてきました。今年の参加児はアトピー児が多く1日3回のスキンケア練習を毎日集団でおこなうことで、お互いに、体の洗い方、薬の塗り方を指摘し合うなどより良い効果が得られたと感じています。退院後の外来でも入院前に比べて良好な状態を保っている児が多く、お母さん共々笑顔で受診されます。そんな笑顔を見るたびにスタッフにとって嵐のように慌ただしい2週間ですが来年もまたがんばろうと思うのです。



療育指導室保育士 金澤明子

療育指導室では、日常生活の援助と指導を中心に、レクリエーションを通して「仲よくして協調性や信頼関係を作る」「入院中の気分転換を図る」ことを目的として行事をおこないました。プール遊び、おやつ作り、ジャスコへの花火の買い物、花火大会、院外活動などを実施しました。

入院当初は、緊張していた子供達も、病棟とは違った雰囲気学習室やプレイルームに興味を示し、本を読んだり、玩具を使って遊んだりするうちに緊張もほぐれ、仲よくなることができました。

生活面でも、様々ながんばりが見られました。食事治療の一つとすることを伝え、一口でも食べられるように促し、苦手なおかずを挑戦したり、整理整頓を出来るようになったり、子供同士がお互いに良い影響を与えていました。

院外活動の湘南台文化センター子ども館に出掛けた時は、世界の玩具や楽器、科学玩具、を楽しみました。民族衣装に人気があり男の子も女の子も試着して楽しんでいました。午後からはプラネタリウムを鑑賞し、「また行きたい」「僕の家から、どうやっていったらいいの?」と言う声も聞かれました。

始めはテレビを見たりゲームをする時間があまりないと不満を言っていた子供も集団生活が楽しいと話すようになり、医師による喘息教室や、アトピー教室に参加したことで病気について理解し、治療や検査も前向きにおこなえました。最終日の終了の会では担当医師から賞状を貰い、みんなともうれしそうな表情をしていました。ご家族から、「参加して良かった。」という感想が聞かれたことが私たちスタッフにとっては大きな喜びでした。



## 地域医療機関 紹介



### すずきこどもクリニック

院長名 鈴木 宗雄  
 診療科目 小児科・アレルギー科  
 所在地 秦野市大秦町1-8 トミービル2F  
 電話番号 0463-83-3715  
 ホームページ <http://www.suzukikodomo.com/>  
 診療時間 AM 8:30~12:00 PM 2:30~6:00  
 休診日 日・祝祭日・木曜日午後・土曜日午後

すずきこどもクリニックは平成元年に開業し、小児科とアレルギー疾患を主に診療をしてきました。当時は病気のこどもをクリニックに連れてくるのはたいていおかあさんかおばあちゃんでした。病気も呼吸器系の感染症

や嘔吐下痢などの消化器疾患、喘息・アトピー性皮膚炎などが主でした。最近はおとうさんやおじいちゃんが連れてくることも珍しくはなくなりました。病気も精神的なもの、自律神経失調症や発達障害など、こどもの生活環境までよく観察しなければならない疾患が増えてきました。また、アレルギー疾患もその疾病構造は大分変わってきています。喘息は治療法が進歩し発作で点滴をしたり入院を依頼したりすることが減りました。代わりに、食物アレルギーによるアトピー性皮膚炎や蕁麻疹などが増え、花粉症の低年齢での発症が目立ってきました。

神奈川病院は独立行政法人化後、小児科のスタッフもだいぶ増えてきました。上述したようにアレルギー疾患は患者数が増加し更なるその発症が低年齢化しております。乳幼児のアレルギーの検査はなかなか大変です。特に、食物アレルギーの負荷テストは不測の事態に備え入院施設のあるところで行う必要があります。そんな折、神奈川病院小児科にアレルギー専門医がおられることは大変心強く思っています。また、小児急患対応も充実してきて、まだまだ急性疾患の多い小児科開業医としては大変ありがたく思っております。今後ともよろしく願いいたします。

## マルチスライスCT導入《高速ヘリカルCT》

放射線科 杉山 勉



東芝メディカルシステムズ(株) Aquilion64

当院では、64列マルチスライスCTと画像解析ワークステーションを連携させ質の高い画像診断を実施しています。瞬時に細かく64断面(スライス)が同時に撮影できるため、撮影時間の大幅な短縮が可能となり、患者様の病態をより正確に把握し、治療方針の決定に役立っています。

頭部・胸部・心臓・腹部・四肢など  
 様々な部位の検査ができます。



全身のあらゆる部位を0.5ミリの厚さの断層像で描出が可能であり、薄い撮影をすることで小さな病変の検出や病変の詳細な分析が可能となります。画像解析ワークステーションを使用した鮮明な立体像により心臓CT検査・仮想内視鏡など、診断に活用しています。

## 新任医師 紹介

### 呼吸器外科 竹内 健

このたび、東京医療センターより神奈川県に異動となりました呼吸器外科の竹内です。



神奈川県に着任につきましては、微力ながら全力を尽くす覚悟でございますので宜しくお願いいたします。

## 病棟の紹介 ～5病棟～

### 5病棟 津田 拓磨

5病棟は、消化器外科・呼吸器外科・小児科の混合病棟です。

消化器外科では、主に胃癌や大腸癌、食道癌といった悪性腫瘍の周手術期や胆石・虫垂炎・ヘルニア等、さまざまな手術症例があります。また、化学療法を受ける患者さんの看護や急性期・終末期などの幅広い疾患についても看護を提供させて頂いています。

小児科では、主にアトピー性皮膚炎・糖尿病・喘息・肥満等の患者さんが短期・長期に入院し、治療を受けています。また、入院生活上の規則が守れるよう保育士と共に協力しながら援助を行っています。今年の4月からはてんかん専門の医師配属により、てんかんの入院治療も行っています。

看護の特殊性としては、様々な手術を受けられる患者さんがより安心して手術を受けられる為に、手術に対する不安の傾聴と安心して手術を受けられるためのオリエンテーションを行っています。また、手術を受ける患者さんが高齢化してきているため、術後せん妄・合併症を起こさない為に、手術後の看護にも取り組んでいます。

5病棟はベテラン看護師や20代の若手看護師が多く、活気・笑顔の絶えない病棟です。患者さんが療養生活を安心して過ごせるような関わりを持って笑顔で接する事を心掛けています。

## 病棟の紹介 ～6病棟～

### 6病棟 麻生 正和

6病棟は、総合内科・消化器内科・脳神経外科等さまざまな科の混合病棟です。内視鏡検査前後の看護や、脳外科手術前後の急性期の看護展開をしています。また、心不全・腎不全・肺炎などの慢性疾患の患者様も多いので、治療だけでなく日常生活におけるケアの実践や退院に向けての在宅調整を行っています。身体機能の維持・向上と廃用予防は私たちの大きな目標です。身体の障害や認知症を抱えて生活することの不便さや不安への理解を深め合いながら、個別ケアを行っています。

6病棟看護師・医師・訓練師・MSW・栄養士・薬剤師が一丸となってサポートしています。回復していく患者様や御家族の笑顔が私たちのパワーの源です！



## 医局講演会 「医療過誤と刑事裁判」について

事務部長 熊野 幸男

平成20年9月12日（金）当院の研修センタ

ーにおいて神奈川病院医局主催の勉強会を開催しました。

講師は、平成20年8月20日に判決が出された福島県立大野病院の産婦人科医の裁判の弁護団の中心メンバーとして活躍された安福 謙二弁護士で、今回の裁判の経過を通して、今私たちがかかわっている様々な問題、ことに医療事故調査委員会などの問題までご意見をお伺いする機会となりました。

参加者は、90名でそのうち近隣の医療機関から約30名の方が参加されました。

質疑応答については、予定時間をオーバーし関心の高さが見受けられました。

## 一日看護体験

実行委員長 谷嶋 寿々子

去る7月25日。看護部では、今年も1日看護体験を実施す

ることが出来ました。

今年の参加者は8名。「広報はだの」や神奈川県看護協会の進路説明会において今回の開催を知り、看護に興味を持った中学生・高校生・社会人の応募がありました。

初めて白衣を身にまとい、ナースの象徴であるナースキャップをかぶり、午前中は各病棟で、看護師の仕事を、午後は車椅子操作や高齢者体験や血圧測定などを体験しました。

「普通に出来る事ができない患者さんの世話は大変だったけど“ありがとう”と言われたのでうれしかった。」・「初めて体験することがいっぱいありとても楽しかった」など緊張した表情の中にも笑顔や暖かな会話の場面をみることがありました。病棟でのスタッフも、2年目の若者で真剣な表情で奮闘していました。

このかわいらしい若者たちが、「看護師になりたい」という気持ちをずっと持ち続け、1人でも多く看護師になってくれれば、私たちもうれしく思いました。



## ボランティアコンサート

ボランティア委員 青井 久江

7月23日(水)外来待合室にて平成17年度文化庁芸術祭大

賞を受賞された甲斐京子さんを招きシャンソンコンサートが開催されました。

SKD出身で昭和45年初舞台、38年間歌って踊って演じることが好き、出会いが楽しい日々との自己紹介のあと、シャンソンに限らず演歌や音頭、ダンス音楽までは幅広いレパートリーを披露され中でもテネシーワルツには酔いしれてしまいました。

甲斐さんは「沢山の愛が患者様に降り注ぎますように」と願いを込めて熱唱されました。終了後、引率されたご家族が車イスを押して病室に戻られる時「普段は動かない手を動かしていた。すごく刺激になったみたい。」と笑顔で言っておられました。

本当に神奈川病院に愛をさんさんと降り注いでいただきありがとうございます。



各科診療担当医表							平成20年10月1日現在	
科別	曜日	月	火	水	木	金		
一般外来	総合内科	齊藤(真)	前島	前島	前島	齊藤(真)		
	腎臓内科		前島	前島	前島			
	循環器内科	亀崎	吉田 野村(秀)	松崎(秀)	亀崎・藤井	田宮		
	呼吸器内科	大久保	篠田	宮本 9:30~	布施川	大久保		
	消化器内科	齊藤(真)	竹内(敦)			齊藤(真)		
	神経内科					大友		
	心療内科・精神科			植杉 松崎(淳) 10/19 午後 10/29午後		松崎(淳) 10/10午前 10/3・10/24午前午後		
	小児科	萬木(晋) 四家 渡辺 14:00~(予約制)	萬木(暁) 萬木(晋) 午後(予約制) 石山	野村(伊) 午前・午後(予約制) 渡辺 9:00~午後(予約制)	野村(伊) 石山	萬木(晋) 萬木(暁)		
	アレルギー科 (小児)	萬木(晋) 渡辺 14:00~(予約制)	萬木(暁) 萬木(晋) 午後(予約制)	野村(伊) 午前・午後(予約制) 渡辺 9:00~午後(予約制)	野村(伊) 第2・第4予防接種 午後 検診	萬木(晋) 萬木(暁)		
	外科	櫻井	当番制	当番制	徳原	櫻井・清水		
	消化器外科	櫻井	当番制	当番制	徳原	櫻井・清水		
	呼吸器外科	竹内(健) 14:00~		加勢田 柿崎		加勢田・柿崎 竹内(健) 14:00~		
	脳神経外科		齋藤(良)		市末寄			
	整形外科	隅山 三宅	三宅(義員外来) 高見澤	草山 隅山	予約のみ	草山 高見澤		
泌尿器科		石田			田野口			
皮膚科			川崎					
特殊外来	糖尿病外来			宮内				
	乳腺外来					交代制 第2・4のみ 14:00~(予約制)		
	※大腸・肛門ヘルニア外来		立松 9:30~		櫻井 13:30~			
	小児神経外来 (てんかん外来)		四家 午後(予約制)		四家 午後(予約制)			
	小児科 (アレルギー治療教室)				野村(伊) 渡辺 14:00~15:00(予約制)			
	成育心身医療科			松崎(淳) 10/15 10/29午後		松崎(淳) 10/10午前 10/3・10/24午後		



※9月26日より、大腸・肛門ヘルニア外来を開設しました。  
 ※心療内科・松崎(淳)先生は、月毎に変更となるためご確認をお願いいたします。また、初診・予約外の方は事前にご連絡下さい。

## ボランティア募集

国立病院機構神奈川病院では、外来患者さんや入院患者さんの方々が気持ち良く受診や治療が受けられるように、また安心して入院生活が送られるように、暖かい気持ちで、活動していただける方々の参加をお持ちしております。

**活動内容**

外来の案内  
 病院内の案内  
 入院患者さんのお話し相手  
 楽器の演奏・歌・踊り  
 お芝居など

**【ボランティア受付】**  
 桜田 庶務係 (内線2122)  
 青井 外来看護師長 (内線 8704)

お気軽にお問い合わせ下さい!

## 案内図

小田急線「秦野駅」下車神奈川中バス④番乗場「国立神奈川病院」行  
 終点(所要時間約15分)

※車利用  
 東名高速道路「秦野中井」より約10分  
 ◎矢印の方向へお進み下さい。●は進入出来ません。

### 編集担当者

統括責任者：市末寄 潔	鈴木 英美
発行責任者：加勢田 静	早瀬 大輔
編集責任者：徳竹 伸重	鈴木 忠利
編集：杉山 努	北岡 琴美
松本 恭子	谷嶋 寿々子
光永 早苗	

**独立行政法人 国立病院機構 神奈川病院**  
 〒257-8585 神奈川県秦野市落合666-1  
 電話：0463-81-1771 FAX：0463-82-7533